

# 原発汚染水 8000ト 想定外で発生

東京電力は二十日、福島第一原発で放射性物質に汚染された機材を保管するサイトバンカ建屋に昨年十一月以降、想定外の地下水が流れ込み、今年八月に流入対策を完了するまでに約八千トの汚染水が発生したと明らかにした。福島県いわき市で開かれた経済産業省の廃炉・汚染水対策現地調整会議で報告した。

東電によると、同建屋への地下水

## 福島第一、地下水流入

流入量は一日あたり約五トだったが昨年十一月以降、最大で同約四十トに急増。地下に埋められたビニールホースが排水口とつながって流入源となっていたことが判明し、ふさがぐ対策を終えた。流入量は一日あたり〇・二ト程度に減ったという。

同建屋は事故当初、第一原発の汚染水が流入。それ以降、流れ込んだ地下水は汚染水として扱っている。